

長崎県窯業技術センター

# 平成15年度業務報告

Annual Report 2004

51

Ceramic Research Center of Nagasaki

# 目 次

I. 概 要	
1 沿 革 .....	1
2 業務内容 .....	2
3 組 織 .....	2
4 職員の配置・職員名簿 .....	3
5 土地・建物 .....	5
6 主要設備・機器 .....	6
7 依頼試験 .....	10
8 開放設備 .....	11
II. 研究業務	
1 連携プロジェクト研究 .....	14
藻場再生のための食害動物対策技術開発 .....	14
2 経常研究 .....	15
2 1 波長可変ガラスレーザーの開発 .....	15
2 2 無機材質の活用による閉鎖性水環境の窒素・リン除去技術開発 .....	16
2 3 半導体型においセンサを応用した揮発性有機化合物の高感度モニタリング技術の開発 .....	17
2 4 機能性超微粒子材料の開発と応用に関する研究 .....	18
2 5 非可塑性原料（エコ）を用いた乾式成形法による大形タイルの開発 .....	19
2 6 アルミナ強化磁器の品質向上 .....	20
2 7 印刷技術による新加飾技術の研究 .....	21
2 8 新製品（デザイン）の開発 「花器に関するマーケティング調査と製品開発」 .....	22
2 9 新製品（デザイン）の開発 「焼成腰の強い磁器による注器の開発」 .....	23
2 10 はりつき指導事業 .....	23
3 受託研究 .....	24
3 1 抗菌剤の製造とその応用製品開発に関する研究 .....	24
3 2 遠心成形法を用いた傾斜機能材料製造技術の開発 .....	25
4 研究発表 .....	26
4 1 技術成果発表会 .....	26
4 2 試作品の展示発表 .....	26
4 3 口頭発表 .....	27
4 4 誌上発表 .....	28
5 各種展示会等への試作品出品 .....	29
6 共同技術開発 .....	30
7 技術開発支援 .....	37
8 工業所有権等 .....	38
III. 技術指導業務	
1 技術指導 .....	41
2 関係団体等への協力 .....	42
3 開発部会（研究会）活動 .....	42
4 講師及び審査員の派遣 .....	44
4 1 伝産振興事業専門研修「デザインコース」 .....	44
4 2 講師等派遣 .....	45
4 3 審査員等派遣 .....	46
5 企業訪問 .....	46
IV. 依頼業務	
1 依頼試験件数・手数料収入状況 .....	47

2	開放設備機器利用状況	48
3	公的機関からの依頼試験・設備機器利用	49
4	共同研究・共同技術開発による依頼試験・設備機器利用	50
<b>V. 技術者養成</b>		
1	地域人材養成事業	51
1 1	一般研修事業	51
1 2	新製品開発力養成研修事業	53
1 3	技術・デザインセミナー事業	55
1 4	先端技術研修事業	58
2	学生実習（インターンシップ等）受入	59
<b>VI. 情報提供</b>		
1	原稿依頼	60
2	刊行物	61
3	外部機関への情報提供及び技術協力	61
4	ホームページによる業務紹介	63
<b>VII. 評価業務</b>		
1	研究推進委員会	64
1 1	長崎県試験研究機関研究推進委員会	64
1 2	分野別研究推進委員会（工業分野）	66
2	評価委員会	67
2 1	課題評価委員会（工業分野）	67
2 2	分野別機関評価委員会（工業分野）	68
3	所内課題検討会	69
3 1	平成16年度新規研究課題検討会	69
3 2	平成15年度研究課題進捗状況検討会	69
<b>VIII. その他の業務</b>		
1	業界団体等との意見交換会	70
2	客員研究員	71
3	ながさき陶磁展	72
4	県各部局、各機関の業務に対する協力支援	73
5	関係機関・団体への委員等派遣	74
6	一般公開	75
7	見学会の実施	76
8	会議等への参加	77
8 1	研究会議の開催・報告	77
8 2	機関長会議への派遣	79
8 3	全国会議・ブロック会議への派遣	79
8 4	企画担当者会議への派遣	80
8 5	関係団体行事等への派遣	80
8 6	研究調査・打合せ等	82
8 7	会議への派遣	85
8 8	講演会・研究会への参加	87
9	職員の研修	89
10	所内の定例会議・委員会等	91
11	施設見学者数	95
<b>資料（長崎県窯業出荷額・陶磁器製品関連の出荷額）</b>		96

## はじめに

陶磁器産業の低迷は、全国的に一向に回復の兆しが見えません。各産地はいろいろな知恵と工夫、技術を駆使しおよそ考えられる商品を作り続けています。それは価格であったり、使い勝手のよさであったり、あるいは消費者のニーズそのものであったり、様々なコンセプトでものづくりがなされているようです。

循環型社会の構築を目指している日本社会は、過去の時代のような大量生産、大量消費型のサイクルを拒否しています。

一方、地球規模で見ると経済発展をし続けている国、生活文化の向上を目指している国が数多く存在しており、活発に生産、消費活動を続けています。

この事は、陶磁器産業だけでなくものづくりに携わる他の産業において、ヒントあるいは道筋の1つにはならないでしょうか。

平成15年度、窯業技術センターは新しいスタートをしました。これまでに蓄積された研究シーズ、技術シーズをもとに、「新事業・新産業の創出」、「陶磁器関連産業の活性化」の2つの目標に向かい、組織体制を整え研究開発、技術支援業務を行いました。

窯業技術センターは、今後もこの目標達成のため、社会のニーズを的確に捉え、研究を重点化し、成果の創出と技術サービスの向上を図って参ります。

本報告書は、この目的のもと窯業技術センターが実施した平成15年度の業務実績を取りまとめたものです。関係各位の方々にご活用いただければ幸いに存じます。

所長 福村 喜美子